

閣議及び閣僚懇談会議事録

開催日時：令和4年6月3日（金） 8：22～8：31

開催場所：総理大臣官邸閣議室

出席者：岸 田 文 雄 内閣総理大臣
金子 恭 之 国務大臣（総務大臣）
古 川 禎 久 国務大臣（法務大臣）
鈴 木 俊 一 国務大臣（財務大臣、内閣府特命担当大臣）
末 松 信 介 国務大臣（文部科学大臣）
後 藤 茂 之 国務大臣（厚生労働大臣）
金子 原二郎 国務大臣（農林水産大臣）
萩生田 光 一 国務大臣（経済産業大臣、内閣府特命担当大臣）
斉 藤 鉄 夫 国務大臣（国土交通大臣）
山 口 壯 国務大臣（環境大臣、内閣府特命担当大臣）
岸 信 夫 国務大臣（防衛大臣）
松 野 博 一 国務大臣（内閣官房長官）
牧 島 かれん 国務大臣（デジタル大臣、内閣府特命担当大臣）
西 銘 恒三郎 国務大臣（復興大臣、内閣府特命担当大臣）
二之湯 智 国務大臣（国家公安委員会委員長、内閣府特命担当大臣）
野 田 聖 子 国務大臣（内閣府特命担当大臣）
山 際 大志郎 国務大臣（内閣府特命担当大臣）
小 林 鷹 之 国務大臣（内閣府特命担当大臣）
若 宮 健 嗣 国務大臣（内閣府特命担当大臣）
欠 席 者：林 芳 正 国務大臣（外務大臣）
陪 席 者：木 原 誠 二 内閣官房副長官
磯 崎 仁 彦 内閣官房副長官
栗 生 俊 一 内閣官房副長官
近 藤 正 春 内閣法制局長官

閣議案件：別添案件表のとおり。

- 一般案件 7件
- 国会提出案件 7件
- 人事 1件

いずれも、案件表のとおり、決定となった。

議事内容：

○松野国務大臣：ただ今から、閣議を開催いたします。

まず、閣議案件について、磯崎副長官から御説明申し上げます。

○磯崎内閣官房副長官：一般案件等について、申し上げます。まず、「統合イノベーション戦略2022」、「特定新技術補助金等の支出目標方針」及び「指定補助金等の交付指針」について、御決定をお願いいたします。本件につきましては、後程、小林大臣から御発言があります。

次に、「復興特別区域基本方針の一部改定」について、御決定をお願いいたします。本件は、第12次地方分権一括法の改正により、応急仮設建築物の存続期間の延長に係る被災地特例が全国展開されることに伴う改定を行うものであります。

次に、「エクアドル国」及び「パラオ国」駐日特命全権大使の接受について、御決定をお願いいたします。本件は、7日、信任状捧呈の予定であります。

次に、「水産白書」について、御決定をお願いいたします。本件につきましては、後程、農林水産大臣から御発言があります。

次に、「政策評価の実施状況等に関する報告」について、御決定をお願いいたします。本件につきましては、後程、総務大臣から御発言があります。

次に、質問主意書に対する答弁書5件について、お手元の資料のとおり、御決定をお願いいたします。

次に、人事案件について、申し上げます。苅部良吉外172名の叙位又は叙勲について、御決定をお願いいたします。

次に、件名外案件について、申し上げます。「債務救済措置に関する書簡」をキューバ及びアンゴラとの間にそれぞれ交換することについて、御決定をお願いいたします。本件は、主要債権国会合の合意に基づく債務救済措置として、「株式会社日本貿易保険」に対するキューバの債務約73億円について弁済期限を繰り延べること等をそれぞれ取り極めるものであります。なお、相手国政府との書簡交換まで不公表といたしたいので、御了承をお願いいたします。

○松野国務大臣：次に、大臣発言がございます。まず、小林大臣。

○小林国務大臣：統合イノベーション戦略2022では、国内外の情勢変化等を踏まえ、「成長」と「分配」の好循環に向けて、大学改革やSTEM教育の推進、AI・量子等の先端科学技術の戦略的な推進、スタートアップの徹底支援等、今後1年間に重点的に取り組むべき科学技術・イノベーション政策を取りまとめました。また、スタートアップ等の研究開発とその事業化を一貫して支援するため、SBIR制度について、スタートアップ等に支出可能な補助金の支出目標額を定める方針と、制度の運用を改善する指針の改訂を取りまとめました。これらの取りまとめに当たっての関係各省からの御協力に感謝申し上げますとともに、関係閣僚の皆様におかれては、今後の戦略等の実行に当たり、特段の御理解・御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

○松野国務大臣：次に、農林水産大臣。

○金子（原）国務大臣：このたび、令和3年度水産白書を取りまとめました。水産白

書におきましては、特集を2つ設けており、1つ目は、3月に閣議決定した新たな水産基本計画を含め、これまでの水産基本計画について記述しております。また、2つ目は、新型コロナウイルス感染症の拡大による水産業への影響と対応であり、水産物の需要や供給の変化、緊急経済対策の実施等について、記述しております。そのほか、我が国水産業をめぐる動きや、水産物の安定供給と水産業の健全な発展を図るために講じている各般の施策について解説しております。白書の作成に当たり、関係府省に御協力いただいたことに対し、感謝申し上げます。

- 松野国務大臣：次に、内閣総理大臣から御発言がございます。
- 岸田内閣総理大臣：令和4年度補正予算につきましては、5月31日に、成立いたしました。改めて、各位の御協力に対し感謝申し上げます。本補正予算を含めた「コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」」により、ウクライナ情勢に伴う原油価格や物価の高騰などによる影響に緊急かつ機動的に対応し、コロナ禍からの経済の回復を確かなものとするとともに、今後の災害、新型コロナウイルス感染症の再拡大や原油価格・物価高騰等による予期せぬ財政需要に迅速に対応し、国民の安心を確保してまいります。各大臣におかれましては、「総合緊急対策」の各施策につき、引き続き迅速かつ適切に実行していただきますようお願いいたします。
- 松野国務大臣：次に、財務大臣。
- 鈴木国務大臣：令和4年度補正予算が早期に成立したことにつきましては、私からも改めて各位の御協力に対し感謝申し上げます。この機会に、本補正予算を含めた「総合緊急対策」に盛り込まれた取組に係る予算の執行につきまして、一言申し上げます。先ほどの総理の御指示にもありましたとおり、各大臣におかれましては、各取組の効果を十分に発揮させる観点から、引き続き迅速かつ適切な執行に取り組んでいただくとともに、予備費を使用するにあたっては、その執行についてより一層の説明責任を果たしていただくようお願いいたします。地方自治体や関係機関におきましても、引き続き迅速かつ適切な執行及び十分な説明責任が果たされるよう、宜しくお取り計らい願います。
- 松野国務大臣：次に、山際大臣。
- 山際国務大臣：先ほど、総理から、総合緊急対策の迅速かつ適切な実行について、御指示がございました。本対策は、ウクライナ情勢等による原油価格や物価高騰等の国民生活への急激な影響を緩和するとともに、新たな価格体系への適応を円滑化し、コロナ禍からの経済社会活動の回復を確かなものとするために、必要な施策を盛り込んでおります。本対策が十分な効果を発揮できるよう、内閣府においても、本対策のフォローアップを行ってまいりますので、関係閣僚におかれては、御協力をいただくようお願いいたします。
- 松野国務大臣：次に、総務大臣から2件御発言がございます。
- 金子（恭）国務大臣：まず、「総合緊急対策」が十分な効果を発揮するためには、地方公共団体においても、引き続き迅速かつ適切な事業執行に取り組んでいただくことが重要であり、その旨、地方公共団体に対し要請を行います。関係府省におかれては、事務処理の促進を図る観点から、補助金等の早期交付及び事務の簡素合理化

を図られますよう、御協力をお願いしたいと存じます。

次に、この度、政策評価法に基づき、令和3年度における政府全体の政策評価の実施状況などを取りまとめましたので、本日、国会へ提出いたします。政策評価については、デジタル時代にふさわしい政策形成・評価の在り方の実現に向けて検討を行っています。具体的には、政策の立案段階の取組を重視し、E B P Mの実践を進めるとともに、行政事業レビューとの一体化等により作業の重複を整理し、政策の質を高める取組に注力できるよう、見直しを行うこととしています。今後、改革の実施に向けて、取組の具体化を進めてまいりますので、各大臣におかれましては、御理解と御協力をお願い申し上げます。

○松野国務大臣：これをもちまして、閣議を終了いたします。

引き続き、閣僚懇談会を開催いたします。

御発言はございますか。

無いようですので、以上をもちまして、閣僚懇談会を終了いたします。

閣議案件 〔 令和4年 〕 (金)
6月3日

◎一般案件

資料あり

○ 統合イノベーション戦略2022について
(決定) (内閣府本府)

〃 ○ { 1. 令和4年度特定新技術補助金等の支出の目標
等に関する方針
1. 指定補助金等の交付等に関する指針
について (決定) (同上)

〃 ○ 復興特別区域基本方針の一部改定について
(決定) (復興庁)

資料なし

☆ エクアドル国特命全権大使セサル・アウグスト・
モンターニョ・ウエルタ外1名の接受について
(決定) (外務省)

◎国会提出案件

資料あり

○ 「令和3年度水産の動向」及び「令和4年度水産
施策」について (決定) (農林水産省)〃 ○ 令和3年度政策評価等の実施状況及びこれらの結
果の政策への反映状況に関する報告について
(決定) (総務省)

〃 ○ { 1. 衆議院議員櫻井周 (立民) 提出現行憲法のも
とで国会のオンライン出席は例外的に認めら
れるとする衆議院憲法審査会の報告書を踏ま
えて自治体議会の本会議においてオンライン
による出席が認められるかどうかに関する質
問に対する答弁書について (決定) (同上)
1. 衆議院議員櫻井周 (立民) 提出地方公共団
体の議会の本会議において議会の審議に必要な
説明をすることがないのに普通地方公共団
体の長等が議場に出席することに関する質問に
対する答弁書について (決定) (同上)

1. 衆議院議員階猛（立民）提出国家賠償法に基づく求償権行使の事例に関する質問に対する答弁書について（決定）（法務省）
1. 衆議院議員早稲田ゆき（立民）提出町村の生活困窮者自立相談支援事業に関する質問に対する答弁書について（決定）（厚生労働省）
1. 参議院議員武田良介（共産）提出都市における道路と鉄道との連続立体交差化事業の取扱いに関する質問に対する答弁書について（決定）（国土交通省）

◎人 事

資料あり ☆元新潟県公立学校長苅部良吉外172名の叙位又は叙勲について（決定）

[○署名あり ☆署名なし]

件名外案件

〔令和4年
6月3日〕 (金)

◎一般案件

資料なし

○

- 1. 債務救済措置に関する日本国政府とキューバ共和国政府との間の書簡の交換
- 1. 債務救済措置（債務支払猶予方式）に関する日本国政府とアンゴラ共和国政府との間の2の書簡の交換

について（決定）

（外務省）

〔○署名あり ☆署名なし〕